

令和 6 年度
学 校 要 覧



小学部高学年 共同作品

福井県立福井特別支援学校

〒910-0026 福井市光陽 3 丁目 2 番 33 号

TEL (0776) 24-5194

FAX (0776) 24-5198

<http://www.fukui-sh.ed.jp/>

E-mail: info@fukui-sh.ed.jp



目 次

1 沿 革	1
2 教育目標	3
3 児童生徒の概要	5
(1) 学年別・性別児童生徒数、学級数	5
(2) 病因別児童生徒数	5
(3) 市町別児童生徒数	6
(4) 高等部卒業後の進路状況	6
4 教育課程	7
5 主な年間行事	10
6 運営組織	11
7 教職員数	11

校 歌

校地・校舎配置図

学校案内図

I 沿革

昭和 35 年	1 月 1 日	福井県立あかり学園設置
	4 月 1 日	同園に湊小学校、光陽中学校あかり分校設置
42 年	1 月 1 日	福井県立福井養護学校設置
		後援会設立
	4 月 1 日	初代校長 久米田裕就任、開校
	6 月 10 日	第 1 期工事竣工、開校式を挙行
43 年	4 月 1 日	第 2 代校長 牧野正次就任
	9 月 10 日	第 2 期工事竣工
	10 月 12 日	皇太子殿下行啓
	11 月 23 日	校舎竣工落成式を挙行
45 年	4 月 1 日	高等部を設置
47 年	7 月 20 日	第 3 期工事竣工（高等部校舎並びに寄宿舎増築）
48 年	4 月 1 日	豊かな心づくり教育実践校指定
	9 月 3 日	スクールバス運行開始（ひまわり 3 号）
	10 月 20 日	第 3 代校長 三田村琢美就任
	12 月 20 日	スクールバス車庫竣工
49 年	6 月 10 日	「校歌」発表（本校職員 小畑茂雄作詞・笠原隆洋作曲）
51 年	4 月 1 日	第 4 代校長 中尾一郎就任
	6 月 10 日	創立 10 周年記念式典挙行
53 年	4 月 1 日	第 5 代校長 斎藤嘉造就任
54 年	4 月 1 日	養護学校教育の義務制施行
		福井県立福井養護学校四ツ井分校、月見分校開校
		訪問教育担当校（福井市地区）
		鯖江市立中河小学校・福井市光陽中学校と交流教育を実施
54 年	8 月 30 日	校舎増築（図書室、図工室、準備室、音楽室）竣工
55 年	4 月 1 日	ふるさとづくり教育推進校委嘱
58 年	3 月 31 日	四ツ井分校・月見分校を福井県立福井東養護学校へ吸収
	4 月 1 日	第 6 代校長 野尻憲治就任
		福井県立あかり整肢園移転（県小児療育センターつくし園）
60 年	3 月 31 日	校舎増築（体育館、生徒昇降口）竣工、グラウンド竣工
61 年	4 月 1 日	第 7 代校長 多田良章就任
		特殊教育教育課程研究学校文部省指定（2 か年）
	10 月 18 日	創立 20 周年記念式典挙行、記念誌発行
62 年	3 月 20 日	プール新設竣工
	10 月 8 日	文部省特殊教育教育課程研究指定校、研究発表会開催
63 年	4 月 1 日	第 8 代校長 岩本日出男就任
	10 月 19 日～21 日	第 26 回中部地区肢体不自由教育研究大会 福井大会開催
平成 元 年	4 月 1 日	文部省心身障害児適正就学推進研究校委嘱
2 年	4 月 1 日	第 9 代校長 山田一朗就任
4 年	4 月 1 日	第 10 代校長 竹内清隆就任
	8 月 26 日	スクールバス購入
6 年	4 月 1 日	第 11 代校長 前田 徹就任
	12 月 3 日	高等部校舎増築、竣工（保護者披露）
7 年	7 月 21 日	改修工事開始（本館、特別教棟）
8 年	4 月 1 日	コンピューター室設置
	4 月 5 日	改修工事終了（本館、特別教棟）
	8 月 18 日	同窓会設立
	10 月 19 日	創立 30 周年記念式典挙行、記念誌発行
9 年	4 月 1 日	第 12 代校長 松村健剛就任
	12 月 26 日	改修工事開始（寄宿舎）
10 年	3 月 27 日	改修工事終了（寄宿舎）
	7 月 29 日	改修工事開始（グラウンド）
	10 月 14 日～16 日	第 36 回中部地区肢体不自由教育研究大会 福井大会開催

11 年	4 月 9 日	改修工事終了（グラウンド）
12 年	4 月 1 日	第 13 代校長 三田松一郎就任
14 年	4 月 9 日	医療的ケア支援員配置
16 年	3 月 28 日	スクールバス「あおぞら」納車
	4 月 1 日	第 14 代校長 松井富美恵就任
18 年	4 月 1 日	非常用飲料水と紙オムツ備蓄
	4 月 7 日	県営坂井バス運行開始
19 年	4 月 1 日	第 15 代校長 西永嘉和就任
20 年	10 月 9 日～10 日	第 46 回中部地区肢体不自由教育研究大会 福井大会開催
22 年	4 月 1 日	第 16 代校長 清水正代就任
22 年	5 月 1 日	飲料の自動販売機設置（令和 6 年 3 月撤去）
23 年	4 月 1 日	第 17 代校長 吉田房子就任
25 年	4 月 1 日	福井県立福井特別支援学校に校名改称
		第 18 代校長 村中正明就任
26 年	4 月 1 日	光陽生協病院と災害時要支援提携
	6 月 1 日	非常食料品を備蓄（各自 1 日分）
27 年	4 月 1 日	第 19 代校長 吉田弥恵子就任
28 年	11 月 3 日	創立 50 周年記念式典挙行、記念誌発行、校旗の新調
		児童生徒共同作品制作「夢をのせて」
30 年	4 月 1 日	第 20 代校長 小八木隆就任
30 年	8 月 21 日～22 日	第 61 回全国肢体不自由特別支援学校 PTA 連合会総会および PTA・校長会合同研究大会「福井大会」開催
令和 2 年	4 月 1 日	第 21 代校長 吉川順子就任
3 年	4 月 8 日	県営永平寺バス、県営丹南・鯖江バス運行開始
4 年	4 月 7 日	新体操服導入
4 年	4 月 8 日	県営春江三国バス運行開始
5 年	4 月 1 日	第 22 代校長 滝川照美就任
5 年	4 月 7 日	県営丹南・越前バス（福祉車両）運行開始
5 年	10 月 5 日～6 日	第 61 回中部地区肢体不自由教育研究大会 福井大会 web 開催

2 教育目標

1. 校訓

明朗（あかるくたのしく）
友愛（みんなとなかよく）
忍耐（じっくりしっかり）
自立（じぶんらしく）

2. 目指す児童生徒像

自分らしく輝ける子ども

3. 学校教育目標

一人一人の教育的ニーズや発達段階等に応じたきめ細やかな指導を通して、生きる力を育み、自立と社会参加の実現を目指す。

<教育方針>

○肢体不自由教育の専門性を発揮し、児童生徒の実態に即した教育課程の編成に努め、一人一人の主体的な学びを支援する。

○児童生徒が安全・安心して過ごせる学校を目指し、危機管理体制の充実を図る。

○地域社会とつながり、交流及び共同学習やキャリア教育を推進する。

○児童生徒の人権を尊重し、様々な経験を通して自己理解や自己受容をすすめ、自己肯定感の向上を促す。

4. 学部教育目標

(1) 小学部低学年 「元気・やる気いっぱいの子ども」

- ・生活のリズムを整え、元気に生活する。
- ・人や物への関わりを広げ、コミュニケーションの力を付ける。
- ・様々な体験を通して、興味・関心の幅を広げる。

(2) 小学部高学年 「友達と楽しく活動する子ども」

- ・身の回りのことに関心を持ち、より良い生活習慣を身に付ける。
- ・活動の場を広げ、いろいろな人と関わりながら、コミュニケーションの力を伸ばす。
- ・人と協力する楽しさを知り、集団生活に進んで参加する。

(3) 中学部 「笑顔で意欲的に学ぶ子ども」

- ・体調を整え体力の向上を図り、心身共に健康な生活を送る。
- ・自立に向けて必要な生活習慣や知識を身に付ける。
- ・地域の人々との交流等を通して、社会参加への意欲を持つ。

(4) 高等部 「たくましく前に進む子ども」

- ・自分の心と身体を理解し、健康の保持や管理に取り組む。
- ・自立と社会参加に必要な知識や技能を身に付ける。
- ・地域社会と関わりながら、将来の生活に向けて広く経験を積む。

5. 校務部別努力目標

- (1) 教務部 「子どもに付けたい資質・能力の明確化」
 - ア 学習指導要領に基づく児童生徒の実態把握をすすめ、教育課程について検討するよう推進する。
 - イ 学部、校務部の ICT 活用の事例を蓄積し、教育 DX を推進する。
- (2) 生徒指導部 「笑顔あふれる学校生活」
 - ア 家庭や関係機関と連携して、児童生徒や教職員の安全安心を確保する体制を整備する。また、災害、事件、事故等に対する事前・発生時・事後の三段階の危機管理を想定した体制の充実を目指す。
 - イ 児童生徒の自立と社会参加を目指し、意欲的に取り組む態度や他者と関わる力、思いやりの心等を育成する指導や活動の充実に努める。
- (3) 進路指導部 「つなげる つながる」
 - ア 進路情報の収集と関係機関との連携をすすめ、進路相談の充実を図る。
 - イ 職場・事業所見学や学習会等の研修を通し、教職員や保護者の進路に対する意識を高める。
 - ウ 担任と連携をとりながら、児童生徒や保護者のニーズを把握し、卒業後の生活を見据えた進路指導ができるように支援する。
- (4) 図書・研修部 「楽しい学びを支える授業づくり」
 - ア 自分らしく生き生きと学ぶ子どもの姿を目指し、校内研究の充実を図る。
 - イ 障がい特性の知識や理解を深め、ICT 機器や教材教具の活用を推進するための研修の充実を図る。
 - ウ 読書意欲を高めるため、環境の整備と読書指導の充実を図る。
- (5) 保健部 「健康・安心・安全な学校生活を送るために」
 - ア 児童生徒に応じた保健指導や相談活動を通し、健康の保持増進および豊かな人間性の育成を図る。
 - イ 一人一人の健康状態を的確に把握するとともに、家庭や関係機関との連携を密にし、健康管理に努める。
 - ウ おいしく安全な給食の提供と食に関する情報の発信に努め、望ましい食習慣を形成する。
 - エ 様々な事故や各種感染症、熱中症等への危機管理に対する教職員の意識を高め、安全で安心な教育環境の整備に努める。
 - オ 医療的ケアが必要な児童生徒に係る関係者が相互に連携協力しながら、対象児童生徒の安心・安全な学校生活の充実に努める。
- (6) 相談・支援部 「寄り添う 支える 広げる」
 - ア 一人一人のニーズを把握し、家庭や関係機関等との連携を密にしながら支援を行う。
 - イ 関係機関等とのネットワーク作りに努め、生活支援や教育相談、高校通級の充実を図る。
 - ウ 様々な交流活動を通して、相互理解を深め、生き生きと活動できる交流及び共同学習を推進する。
 - エ 生活支援や教育相談、高校通級に関する研修等を行い、校内外への理解啓発に努める。
- (7) 渉外部 「保護者、教員、同窓生がつながり、協働する」
 - ア PTA 会員相互の研修と親睦を図る。
 - イ 本校の教育振興のために、後援会の理解・啓発に努める。
 - ウ 同窓会会員が相互に親睦を深められるように支援する。
- (8) 舍務部 「育てよう 生きる力」
 - ア 基本的な生活習慣の定着を目指し、健康な心身の育成に努める。
 - イ 集団生活を通して、社会性及び主体的な生活態度の育成に努める。

3 児童生徒の概要

(1) 学年別・性別児童生徒数、学級数

(令和6年5月1日現在)

学部 学年			小 学 部							中 学 部					高 等 部					総 計			
			1	2	3	4	5	6	小計	1	2	3	小計	1	2	3	小計						
普 通	児 生 徒 数	男	0	0	0	0	0	0	0	合 計 22 人	0	2	1	3	合 計 14 人	1	1	0	2	合 計 13 人	49 人		
		女	1	0	0	0	1	0	2		1	1	0	2		0	1	0	1				
		計	1	0	0	0	1	0	2		1	3	1	5		1	2	0	3				
	学 級 数		1	0	0	0	1	0	2		1	1	1	3		1	1	0	2				
重 複	児 生 徒 数	男	0	2	0	1	1	5	9		3	1	1	5		1	3	2	6			7 学 級	27 学 級
		女	2	0	3	3	0	2	10		1	2	0	3		0	0	3	3				
		計	2	2	3	4	1	7	19		4	3	1	8		1	3	5	9				
	学 級 数		1	1	1	2	1	3	9		2	1	1	4		1	1	2	4				
訪 問	児 生 徒 数	男	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	1	0	1				
		女	0	0	0	0	0	1	1		0	0	1	1		0	0	0	0				
		計	0	0	0	0	0	1	1		0	0	1	1		0	1	0	1				
	学 級 数		0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1						
舎 生 数	児 生 徒 数	男	0	0	0	0	1	0	1	合 計 1 人	2	2	1	5	合 計 10 人	1	1	2	4	合 計 6 人	17 人		
		女	0	0	0	0	0	0	0		2	3	0	5		0	1	1	2				
		計	0	0	0	0	1	0	1		4	5	1	10		1	2	3	6				

(2) 病因別児童生徒数

(令和6年5月1日現在)

学部	脳性疾患	脊椎等疾患	筋原性疾患	骨系統疾患	その他	合計
小学部	9	3	1	0	9	22
中学部	8	3	0	0	3	14
高等部	3	0	2	1	7	13
合計	20	6	3	1	19	49

(3) 市町別児童生徒数

(令和6年5月1日現在)

市町村	学部 学年	小学部						中学部			高等部			合計
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
福井市		2	1	1	3	1	5	2(1)	3(3)	1		5(2)	2	26(6)
鯖江市		1		2						1(1)				4(1)
あわら市						1(1)	2						2(2)	5(3)
坂井市			1		1		1	1(1)	2(1)	1			1(1)	8(3)
永平寺町									1(1)					1(1)
池田町											1			1(0)
越前町								2(2)			1(1)	1		4(3)
合計		3(0)	2(0)	3(0)	4(0)	2(1)	8(0)	5(4)	6(5)	3(1)	2(1)	6(2)	5(3)	49(17)
		22(1)						14(10)			13(6)			49(17)

() は舎生数

(4) 高等部卒業後の進路状況

(令和6年3月31日現在)

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計
大 学						0
専 門 学 校						0
障害者職業リハビリセンター等	1					1
就 職	2	3	3		1	9
就 労 移 行 支 援						0
就 労 継 続 支 援 A						0
就 労 継 続 支 援 B	2	3	2		1	8
生 活 介 護	4	4	3	4	3	18
地域活動支援センター						0
日 中 一 時 支 援 等						0
施 設 入 所						0
在 宅				1		1
合 計	9	10	8	5	5	37

4 教育課程

※ 各教科等を合わせた指導の中で行う ☆ 教育活動全体を通して指導する * 自立活動の中で指導する

小 学 部																																							
教 育 課 程		A						B						C						D						E						F（訪問）							
学 年		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
教 科	国語	306	315	245	245	175	175	170	175	175	175	175	175	102	105	105	105	105	105	34	35	35	35	35	35	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	社会			70	90	100	105																																
	算数	136	175	175	175	175	175	102	140	140	140	140	140	68	70	70	70	70	70	34	35	35	35	35	35	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	理科			90	105	105	105																																
	生活	102	105					※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	音楽	68	70	50	35	35	35	68	70	70	70	70	70	68	70	70	70	70	70	34	35	35	35	35	35	34	35	35	35	35	35	35	*	*	*	*	*	*	*
	図画工作	34	35	35	35	35	35	68	70	70	70	70	70	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	家庭					35	35																																
	体育	68	70	105	90	90	90	68	70	70	70	70	70	68	70	70	70	70	70	68	70	70	70	70	70	68	70	70	70	70	70	*	*	*	*	*	*	*	*
外国語					70	70																																	
合 っ せ た 指 導	日常生活の指導							68	70	70	70	70	70	238	245	280	280	280	280	340	350	385	385	385	385														
	遊びの指導													136	175	140	105	105	105	170	210	245	140	140	140														
	生活単元学習							136	140	210	210	210	210			70	140	140	140				140	140	140														
特別の教科道徳		34	35	35	35	35	35	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
外国語活動				35	35																																		
総合的な学習の時間				35	65	55	50																																
領 域	特 別 活 動	34	35	35	35	35	35	34	35	35	35	35	35	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
	自 立 活 動	68	70	70	70	70	70	136	140	140	175	175	175	170	175	175	175	175	175	170	175	175	175	175	175	748	805	875	910	910	910	4	4	4	4	4	4	4	
合 計		850	910	980	1015	1015	1015	850	910	980	1015	1015	1015	850	910	980	1015	1015	1015	850	910	980	1015	1015	1015	850	910	980	1015	1015	1015	4	4	4	4	4	4	4	
備 考		○数字は年間時数とする。F 課程（訪問）は週時数とする。 ○「各教科等を合わせた指導」を「合わせた指導」と表記する。																																					

中 学 部																			
教 育 課 程		A			B			C			D			E			F（訪問）		
学 年		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
教 科	国 語	140	140	105	140	140	140	70	70	70	35	35	35	*	*	*	*	*	*
	社 会	105	105	140	※	※	※	※	※	※	※	※	※	*	*	*	*	*	*
	数 学	140	105	140	105	105	105	70	70	70	35	35	35	*	*	*	*	*	*
	理 科	105	140	140	※	※	※	※	※	※	※	※	※	*	*	*	*	*	*
	音 楽	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	*	*	*
	美 術	35	35	35	70	70	70	※	※	※	※	※	※	*	*	*	*	*	*
	保 健 体 育	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	*	*	*
	技 術・家庭	70	70	35															
	職 業・家庭				70	70	70	※	※	※	※	※	※	*	*	*	*	*	*
	外 国 語	140	140	140	※	※	※												
合 っ せ た 指 導	日常生活の指導							245	245	245	350	350	350						
	生活単元学習				140	140	140	175	175	175	140	140	140						
	作 業 学 習				140	140	140	140	140	140	140	140	140						
特別の教科道徳		35	35	35	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
総合的な学習の時間		35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	☆	☆	☆	☆	☆	☆
領 域	特 別 活 動	35	35	35	35	35	35	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	自 立 活 動	70	70	70	175	175	175	175	175	175	175	175	175	910	910	910	4	4	4
合 計		1015	1015	1015	1015	1015	1015	1015	1015	1015	1015	1015	1015	1015	1015	1015	4	4	4
備 考		○数字は年間時数とする。F 課程（訪問）は週時数とする。 ○「各教科等を合わせた指導」を「合わせた指導」と表記する。																	

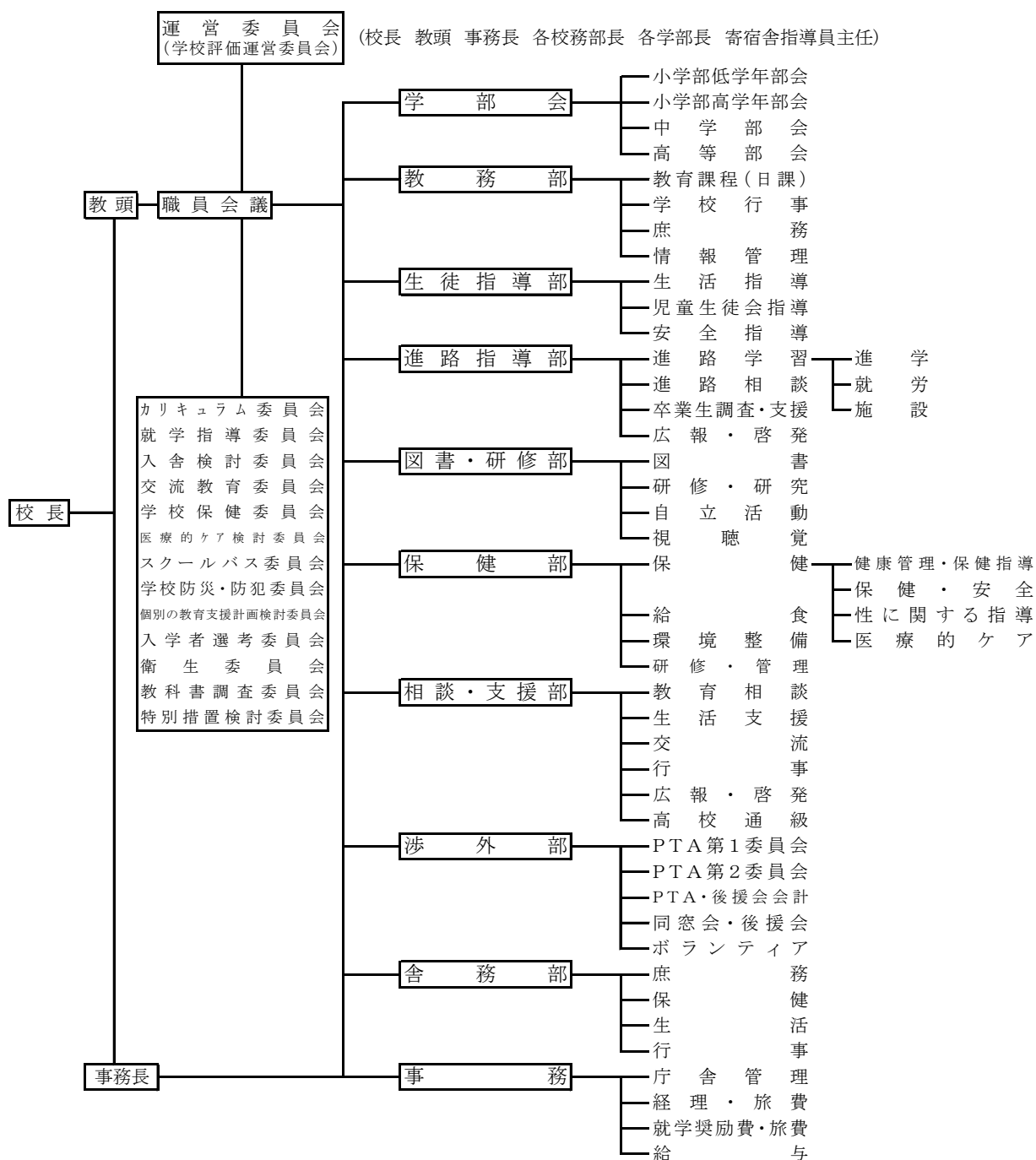
高 等 部 1 ～ 3 年											
教 育 課 程			A								
コ ー ス			普通科・Ⅰコース			普通科・Ⅱコース			普通科・Ⅲコース		
学 年			1	2	3	1	2	3	1	2	3
教 科 目	国 語	現 代 の 国 語	2			3					
		言 語 文 化	2				3				
		論 理 国 語		2	2						
		文 学 国 語		2	2						
		国 語 表 現		2	2			4			
	地 理 歴 史	古 典 探 究		2	2						
		地 理 総 合	2					2			
		地 理 探 究		2	2						
		歴 史 総 合	2			2					
		日 本 史 探 究		2	2						
	公 民	世 界 史 探 究		2	2						
		公 共 理 論		2			2				
		倫 理 政 治 ・ 経 済			(2)						
	数 学	数 学 I	3			2	2				
		数 学 II		4							
		数 学 III			③						
		数 学 A			② (2)			3			
		数 学 B			② (2)						
		数 学 C			② (2)						
	理 科	科 学 と 人 間 生 活				2					
		物 理 基 礎		2	2		2				
		物 理			④						
		化 学 基 礎	2				2				
		化 学			④ ④						
		生 物 基 礎		2	2		2	2			
		生 物			④						
		地 学 基 礎		2	2		2				
		地 学									
	保 健 体 育	体 育	2	2	3	3	3	3			
		保 健	1	1		1	1				
	芸 術	音 楽 I	2			2					
		音 楽 II		2			2	2			
		美 術 I	2			2		2			
		美 術 II					2	2			
	外 国 語	英 語 コミュニケーションⅠ	4			2	2				
		英 語 コミュニケーションⅡ		4							
		英 語 コミュニケーションⅢ			4						
		論 理 ・ 表 現 I		2				2			
		論 理 ・ 表 現 II			(2)						
		論 理 ・ 表 現 III									
	家 庭	家 庭 基 礎	2								
		家 庭 総 合				2	2	2			
	情 報	情 報 I			2	2					
		情 報 II									
	理 数	理 数 探 究 基 礎									
		理 数 探 究									
	産 業 社 会 と 人 間	産 業 社 会 と 人 間	3	4	①②③④⑤(4)⑥	3	5	6			
自 立 活 動			1	1	1	4	4	4	28	28	28
総 合 的 な 探 究 の 時 間			1	1	1	1	1	1	1	1	1
ホ ー ム ル ー ム 活 動			1	1	1	1	1	1	1	1	1
合 計			30	30	30	30	30	30	30	30	30
備 考		・数字は単位数とする。	・第2学年では、国語において、「文学国語」・「古典探究」から1科目選択し、第3学年では同じ科目を継続して履修する。地理歴史において、「地理探究」・「日本史探究」・「世界史探究」から1科目選択し、第3学年では同じ科目を継続して履修する。理科においては、「物理基礎」・「生物基礎」・「地学基礎」から1科目選択し、第3学年では残り2科目のうちいずれかを選択すること。・第3学年では、理系希望者は数学Ⅲ③、A②、B②、C②、産業社会と人間①②③④⑤から6単位と、理科④から1科目の計10単位を選択すること。ただし、理科④の選択科目は第2学年までにその科目に対する基礎を付した科目を履修しているものとする。また、文系希望者は() から計10単位を選択すること。			・第2学年の理科では、「物理基礎」・「化学基礎」・「生物基礎」・「地学基礎」から1科目選択すること。 ・第2学年の芸術で、「音楽Ⅱ」・「美術Ⅱ」のいずれかを選択する場合は、第1学年でそれぞれに対応するⅠを付した科目を履修していること。第3学年ではその科目を継続して選択すること。			・重複障害者に関する教育課程の取り扱いにより、自立活動を主に指導する。		

高 等 部																
教 育 課 程		B			C			D			E			F (訪問)		
学 年		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
教 科	国 語	105	105	105	70	70	70	35	35	35	*	*	*	*	*	*
	社 会	35	35	35	※	※	※	※	※	※	*	*	*	*	*	*
	数 学	105	105	105	70	70	70	35	35	35	*	*	*	*	*	*
	理 科	35	35	35	※	※	※	※	※	※	*	*	*	*	*	*
	音 楽	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	*	*	*
	美 術	70	70	70	70	70	70	70	70	70	*	*	*	*	*	*
	保 健 体 育	105	105	105	70	70	70	70	70	70	70	70	70	*	*	*
	職 業	35	35	35	※	※	※	※	※	※	*	*	*	*	*	*
	家 庭	35	35	35	※	※	※	※	※	※	*	*	*	*	*	*
	外 国 語	35	35	35												
合 わ せ た 指 導	情 報	※	※	※												
	日常生活の指導				245	245	245	245	245	245						
	生活単元学習	70	70	70	140	140	140	210	210	210						
領 域	作 業 学 習	140	140	140	140	140	140	140	140	140						
	特別の教科道徳	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	総合的な探究の時間	35	35	35	35	35	35	35	35	35	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	特 別 活 動	35	35	35	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
合 計	自 立 活 動	175	175	175	175	175	175	175	175	175	945	945	945	4	4	4
		1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	4	4	4
備 考		○数字は年間時数とする。F 課程（訪問）は週時数とする。 ○「各教科等を合わせた指導」を「合わせた指導」と表記する。														

5 主な年間行事

	学校行事	各 学 部	P T A	舎 務 部
四月	・新形式 ・入学式 ・始業式 ・保護者懇談期間 (進路相談、健康に関する、生活に関する聞き取り調査) ・委員会活動開始 ・特別部活動開始	・入学・進級おめでとう集会(小) ・新入生歓迎会(中、高)	・会計監査 ・PTA 総会・後援会総会 (授業参観、地区別交流会、学部別連絡会)	・学級担任との話し合い ・自治会総会
五月	・避難訓練 ・児童生徒会総会 ・入学後連絡会	・春季現場実習(高3年) ・遠足(小高)	・第1回中肢P連協議会 ・PTA 役員会 資源回収	・歓迎会 ・体験入舎(高1・2年) ・避難訓練
六月	・学校見学会 ・歯科作品展示 ・保護者参観週間 ・ユニバーサル公演事業	・遠足(小低・中) ・修学旅行(高2・3年) ・職場見学(高1年、中1～3年) ・事業所見学(高1年、中1～3年) ・1学期期末考査(中、高)		
七月	・保護者懇談期間 ・終業式 ・卒業生調査及び支援 ・不審者対応訓練	・1学期期末考査(中、高) ・大安寺中学校との交流(中) ・事業所体験(中3年) ・校外学習(高)	・PTA 新聞「てとて」発行 ・保護者事業所見学	
八月	・学校面談			
九月	・始業式 ・後期児童生徒会役員選挙 ・目の愛護週間作品展示	・宿泊学習(小4・5年) ・湊保育園との交流(小低) ・遠足(高) ・卒業生と語る会(中、高)		・明けの里★フェスタ ・避難訓練 ・体験入舎(小3年～中)
十月	・学校祭 ・避難訓練 ・高等部見学会	・遠足(小低)	・第2回中肢P連協議会 ・制服等リサイクル	
十一月	・児童生徒会総会	・秋季現場実習(高) ・小低授業参観週間 ・わんちゃんとのふれあい集会(小低) ・高文連作品展(高) ・校外学習(小低) ・修学旅行(中2・3年) ・事業所体験(中3年)		
十二月	・高等部説明会 ・校外作品展「みっとっけの2024」 ・保護者懇談期間 ・スポーツ大会 ・終業式	・クリスマス集会(小) ・2学期期末考査(中、高) ・校外学習(中、高)		・クリスマス会
一月	・始業式	・移行支援会議(高3年)		・避難訓練
二月	・次年度新入学児童生徒体験入学 ・高等部入学者選考 ・次年度前期児童生徒会役員選挙 ・高等部合格者登校日 ・入学前連絡会 ・給食週間	・卒業おめでとう集会(小) ・卒業生を送る会(中、高) ・学年末考査(中、高卒) ・進路説明会(中2) ・移行支援会議(高3年) ・学年末考査(中、高在)	・会計中間監査 ・第2回県特支P連役員総会 ・PTA 役員会 ・PTA 新聞「てとて」発行	・お別れ会
三月	・卒業証書授与式 ・同窓会入会式 ・修了式 ・退任式 ・離任式	・移行支援会議(高3年)		

6 運営組織



7 教職員数

(令和6年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手 (含臨任)	寄宿舎指導員 (含臨任寄宿舎指導員)	臨時任用 講師	非常勤講師	事務職員 (含臨任・非常勤)	栄養教諭	技術職員(調理) (含臨任)
1	1	53	1	2	12	6	3	7	1	4
校務員 (含非常勤)	非常勤舎監	非常勤助手	医療的ケア 看護師	調理 アルバイト	スクールバス 添乗員	学校医	学校歯科医	薬剤師	臨時校医 (耳鼻科)	
2	1	3	6	4	1	1	1	1	1	

福井県立福井特別支援学校校歌

小畑 茂雄 作詞
笠原 隆洋 作曲



あ お い そ ら ゆ め み る ひ か り や
さ え ー る か ー ぜ と び か う こ と り ほ



ま は し た し く か た り の に み ど り の し ら べ は わ た ー
し は や さ し く う た い む ね に き ー よ い な さ け は か お ー



る あ す わ が ー わ の せ せ ら ぎ は わ か い ち し お の
る ゆ き の み ー ね の か が や き は わ か い こ ころ の



こ ー だ ー ま と も よ じ り つ を ち か い つ
ほ ー こ ー り よ ー の あ ら な み ー に た か む か



つ し ふ く の ま な ー び を つ つ け よ う
い ゆ う ひ の ま ー び を ひ ろ げ よ う

二

一

青い空
夢見る光
山は親しく語り
野に緑の調べは渉る
足羽川のせせらぎは
若い血潮のこだま
友よ自立を誓いつつ
雌伏の学びを続けよう
冴える風
飛び交う小鳥
星は優しく歌い
胸に聖い情けは薫る
雪の峰のかがやきは
若い心の誇り
世の荒波に立ち向かい
雄飛の翼をひろげよう

青い空
夢見る光
山は親しく語り
野に緑の調べは渉る
足羽川のせせらぎは
若い血潮のこだま
友よ自立を誓いつつ
雌伏の学びを続けよう

